

令和 8 年市政報告会内容報告（各地区公民館での意見交換内容の概要）

地区名	日時	内容
高野口	7 月 31 日(金) 19 時～	○高野口中学校の移転についての住民説明会を開催を要望する。住民の意見が反映されない形だけのワークショップになるなら不要では市の職員数を減らす中で、地域のことは地域で。となるなら、市はもう少し地域の活動を支えることを考えてもらいたい 【教育部長】 高野口中学校は、旧応其中学校跡地に令和 13 年度の開校を目指しています。先になりますが、工事の請負契約を行なった後に説明会を開催する予定です。 ワークショップは、学校に携わった方の想いを形に変えたいという目的で、ご意見を聞き、施設の基本コンセプトと整備方針の決定のための参考とするため、開催しております。 【健康福祉部長】 市内 10 か所ある第 2 層協議体において、それぞれ置かれている状況や課題、人材も含めた地域資源など事情が異なる中、地域毎の課題解決に向けて、市の担当者も入りながら、一緒に課題解決に向けての対策を検討しているところです。 説明の中で、第 2 層協議体にどのような予算を付けていくのか、場合によっては 3 層を作っていく、そこに支援していくのかというのが今後の課題と申し上げましたけれども、担当職員も一緒に入った中で、地域課題の解決策を検討させていただきながら、併せて市としてどのような形で支援できるのかというのを考えさせていただきたいと思います。 【市長】 検討委員会で、高野口中学校の移転先を検討していただいた結果、どの場所が良いかの回答いただきました。現在、どのような学校にするか協議いただいているところです。 また、子ども食堂については地域食堂に変えて、子や親、高齢者の人たちが来てくれるような場所にしていきたいという思いがあります。また、無償ボランティアでの維持は難しい面もあるので、有償ボランティアにして高校生などにも参画してもらい、子どもの居場所づくりとしての位置づけをしていきたいと思ってます。現状では、やはり地域の皆さんにお願いして運営していけたらと思うので、よろしくお願いします。 ○伊都中央高校との連携なども含めた、高野口中学校の体育館建設の必要性について。第 3 期の検討委員会を立ち上げてもらいたい

		【教育部長】 現状では検討委員会での答申が出ていないので、確定的なお話はできませんが、あくまで教育部長としての見解は、体育の授業やクラブ活動のことを考えると、中学校に専用の体育館を設置してあげたいという思いはあります。 検討委員会については、現在は施設の整備方針等の基本コンセプトへの意見をいただき、次の基本・実施設計というステップへ、計画を進めていきたいと考えています。そのためにも今ご意見をいただいている状況ですので、現状第3期検討委員会の開催は予定していません。 【市長】 伊都中央高校の体育館を借りる連携については、県と協議を続けたいとは思っています。体育館の建設を想定しておかないと、協議が成り立たない際に、体育館がない。という状況になる訳にもいかないので。災害時には避難所になることも想定すると、冷房完備の体育館の建設は必須かと思うので、慎重に協議を進めていきたい。 中学校の移転は5年後の完成を目指しているため、第3期などの検討委員会での期間が延びるほど、今度完成時期も延長してしまうことになることも住民の声を聞きながら進めていきたい。 ○市政報告会の様子を広報などでも可能であれば紹介してもらえれば（要望のみ） ⇒市ホームページ、広報はしもとで掲載します。 ○人口減少に伴う民生委員や農業委員などの担い手不足についてどう考えるか。また、女性の役職への登用についてどう考えるか 【市長】 民生委員児童委員や母子保健推進員について、担っていただける人を探すのが難しくなっているため、人材確保のため国に対し要望していきたい。女性の役職については現在、部長級に女性が1名います。過去にも、女性の部長職は数名いました。また、課長の女性も増えています。私としては、女性の役職への登用に対する抵抗は全くないので、今後とも男女関係なく意欲のある職員を部長級に任命していきたいと考えています。 ○熊本地震に対して、橋本の支援対応はどうなっているか 【市長】 義援金を始め、被災された方が住んでいただけるよう市営住宅を15戸を用意をしています。また、水道関係の対応等での職員派遣も予定しています。受け入れる体制の問題もありますが、要請があれば対応していきたいと考えます。
--	--	---

		○高野口中学校の通学路対策について、今年度の対策を教えてください。 また、現在の高野口中学校の体育館の雨漏りの修繕と現在の中学校の駐輪場の状況について 【教育部長】 2年に1度、通学路交通安全プログラムで各学校の危険箇所を報告いただき、対応策を検討しています。ハード面での対策はすぐには難しい面もあるため、先日も職員が草刈りを行う等ソフト面で対応してきたところです。他の危険箇所も含め、地域の皆さんの協力を得ながら考えていきたいと思います。 体育館については、雨だけの場合は防げますが、台風等の吹き上げを伴う雨の場合は、屋根から雨水が滴り落ちる実情はあります。その場合は、現場を見てできる限り緊急修繕という形で対応している状況です。 自転車の置場は確かに置くスペースが限られていますが、屋根がない場所に自転車が置かれている実情があります。ただ、中学校に確認したところ、スペースがないからではなく、校舎の入り口に近いかから停めている状況などもあるようなので、現状のままでさせていただいてます。 【市長】 体育館の雨漏り等の学校の修繕については、市内全体の状況を勘案して、対応を考えていきたいと思います。 ○子どもの通学路時などの酷暑の対策について検討してもらいたい 【教育部長】 水分補給をこまめに促したり、クールネックや日傘などの使用を認めるなどのソフト対策から取り組んでいるところです。他の効果的な対策についても検討していきたいと思います。 【市長】 酷暑の中の登校、市内の中学校全体の問題でもありますので、全ての子どものことを踏まえて、どういう対応ができるか考えていきたい。
--	--	--